

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
昭和59年8月16日 第18報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Aphanothece clathrata</i> *	40		
(藍) <i>Anabaena macrospora</i> *	20		
(藍) <i>Anabaena affinis</i> *	80		
(藍) <i>Anabaena sp.</i> *	20		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	1040	◎	◎
(珪) <i>Melosira granulata var. angustissima</i>	120		
(珪) <i>Melosira italica</i>	360		
(珪) <i>Synedra acus</i>	20		
(珪) <i>Suirella sp.</i>	20		
(渦) <i>Gymnodinium sp.</i>	20		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	40		
(緑) <i>Micractinium pusillum</i>	500		
(緑) <i>Planktosphaeria gelatinosa</i>	320		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	640	○	○
(緑) <i>Closterium aciculare var. subpronum</i>	20		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum var. ornatum</i>	20		○
(藍) 藍藻綱	160	4.9	10.2
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	1560	47.6	47.4
(渦) 渦鞭毛藻綱	20	0.6	0.6
(褐) 褐色鞭毛藻綱	40	1.2	1.6
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	1500	45.7	40.2
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	3280	総体積	4.25E+06
種類数	16	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第1優占種		細胞数 (細胞数/ml)
珪藻綱	<i>Melosira granulata</i>	1040

第2優占種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	640

植物プランクトン第1優占種



Melosira granulata
(メロシラグラヌラータ)
珪藻綱

細胞は円筒形で、糸状の群体を形成する。群体の両端に顕著な長い剛毛を1~3本有する。

植物プランクトン第2優占種



Pediastrum biwae
(ピワクンショウモ)
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ピワクンショウモと呼ばれている。